

衆議院（小選挙区選出）議員選挙 選挙公報

（この選挙公報は、公職選挙法第百六十九条第三項の規定により、候補者から提出された原文のままを掲載したものであります。）

鹿児島県選挙管理委員会



参政党公認 65歳

いとう 周平

地域の声で未来をひらく

4つの政策

①物価高から生活を守る

②農家への戸別所得補償を

③最低保障年金月額10万円へ

④日本をふたたび戦場にさせない



いとう 周平 プロフィール

1960年4月6日 山口県周南市生まれ 65歳

最終学歴 東京大学 大学院 社会学研究科 博士課程修了

主な職歴 1988年4月 労働省(現厚生労働省)入省
1991年8月 社会保障研究所 入所
(現国立社会保障・人口問題研究所)

1996年4月 法政大学 社会学部 助教授
1998年4月 九州大学 教育学部 助教授
2000年4月 九州大学 大学院
人間環境学研究院 助教授

2003年10月 鹿児島大学 法文学部 教授
2004年4月 鹿児島大学 法科大学院 教授
2017年4月 鹿児島大学 法文学部 教授

専門分野 社会保障法 社会政策論 鹿児島大学 法文学部 教授

主な著書 「介護保険法と権利保障」(法律文化社、日本社会福祉学会学術受賞)
「消費税が社会保障を破壊する」(角川新書)
「日本の社会保障」(ちくま新書)など

活動報告



Facebook



Instagram



社民党 県連

参政党



鹿児島島の戦争のための前線基地化、断固反対! 比例区は参政党へ



ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする
～経済・産業・移民～

2 日本人を守り抜く
～食と健康・一次産業・エネルギー～

3 日本人を育む
～教育・人づくり・国家観～

1 “集めて配る”より、まず **減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う **“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察、消防、自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が **生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療**で **健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えています。

7 子ども一人につき **月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 **受験戦争**からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさや平和を守ります。

比例は **参政党**

とお書きください。

参政党の政策はこちらの特設サイトから!▶



きりはらいくお プロフィール

鹿児島県沖永良部島出身。鶴丸高校卒業、中央大学中退、日本福祉大学卒業。長年にわたり高齢者福祉施設の運営に携わり、日本福祉大学で福祉を学ぶ。霧島市の高齢者福祉施設で施設長を約10年務める。



参政党公認

きりはらいくお

国民民主党

中村ひさしの政策 4 本柱

1.「もっと手取りを増やす」

働く世代、子育て世代を手厚く支援し、年少扶養控除を復活して手取りを増やし、更に再エネ賦課金を廃止し、電気代を安くすることでもっと手取りを増やします。

3.「教育対策・少子化対策・子ども支援」

◆ 奨学金ローン減税

住宅ローン減税と同じく、奨学金を抱えている人たちに對しても国が支援をしていく減税を目指します。

◆ 子ども食堂支援

全国の子ども食堂に対し、国が責任を持って手厚い支援をし、国の宝である子ども達の成長を育むことを目指します。

2.「国民と約束した政策は必ず実現」

ガソリンの暫定税率の廃止、いわゆる103万円の壁の178万円への引き上げは実現できました。所得税の4つあった壁のうち2つは倒せましたが、残りの2つの壁を倒す努力を続けて参ります。

4.「地域振興、活性化」

ビジネスマンの視点で、鹿児島を大きな一つの会社として捉えた場合、この会社はとても良い商品をいっぱい持っています。どうやったら会社の持つ良い商品をいっぱい売って利益を上げれるか、そしてその利益を社員の皆さんに分配して給料を上げれるかを一番に考えていきます。鹿児島のもつ良い商品(農林水産物、畜産物等)を志布志港から海外に輸出できる様、国が先頭に立って推進していきます。

profile

志布志の小学校・中学校を卒業。高校はかつて曾於市にあった、岩川高等学校で建築を学ぶ。高校卒業後は上京。多くの年月をビジネスの世界で過す。いくつかの会社経営にも携わり、海外での会社設立や会社経営を経験。現在 59 歳。

中村ひさしは、今までビジネスの世界で学んできた「知識」や「経験」を政治の世界で生かして参ります。人々が先の見えない閉塞感を感じている今、頑張った人が頑張った分だけ報われる社会、将来への明るい希望が持てる日本・鹿児島をつくるためにがんばります。応援をよろしくお願い致します!

もっと、もっと、
手取りを増やす。



鹿児島4区 国民民主党 公認

中村ひさし

比例区は **国民民主党**

鹿児島4区 公認

中村ひさし



選挙事務所：鹿児島県志布志市志布志町志布志 3-3-14 / TEL:099-255-5055

「正直な政治」
これからも、まっすぐに。前へ。

森山 ひろしのあゆみ

生年月日	1945年(昭和20年)4月8日生
出生地	鹿屋市古江町港町
出身校	昭和33年3月 鹿屋市立古江小学校卒業 昭和36年3月 鹿屋市立花岡中学校卒業 昭和36年4月 鹿児島県立鶴丸高校 夜間課程入学 昭和40年3月 鹿児島県立日新高校卒業 (旧鶴丸高校・夜間課程)
経歴	鹿児島市議会議員 7期 鹿児島市議会議員 5期 九州市議会議員 2期 参議院議員(鹿児島県選出) 1期 衆議院議員(鹿児島県5区・4区) 8期 農林水産大臣 1期 財務副大臣 2期 財務大臣政務官 1期 自民党国会対策委員長 4期 自民党選挙対策委員長 1期 自民党総務会長 1期 自民党幹事長 1期 衆議院農林水産委員会 委員長 自民党水産専任部 会長
現職	自民党鹿児島県支部連合会 会長 一般社団法人 全国治水砂防協会 会長 公益社団法人 中央畜産会 会長 一般社団法人 日本養蜂協会 会長 自民党 TPP・日EU・日米TAG等 本部 自民党 経済協定対策本部 本部長 自民党 食料安全保障強化本部 本部長 自民党 卸売市場議員連盟 会長 自民党 茶葉振興議員連盟 会長 自民党 「養鰻振興議員の会」 会長 自民党 焼酎文化振興議員連盟 会長 自民党 郵政事業に関する特命委員会 委員長
ホームページ	

「大隅・霧島・熊毛の元気が 日本の未来をひらく!!!」

この国を、守り抜く。

- ◎国民と共に憲法を改正し、新しい時代を切り拓きます。
- ◎東アジアをめぐる脅威から国民を守り抜きます。
- ◎日米同盟をより一層強固にすることでわが国の抑止力を高めます。

景気回復

- ◎経済対策の拡充
- ◎迅速な物価高対策
- ◎地方の景気対策
- ◎商工業の振興
- ◎中小・零細企業への支援強化
- ◎地域自立の支援推進

地域活性化

- ◎家畜防疫対策・病害虫防除対策の推進
- ◎日本の食糧基地としての農林水産業の振興（輸出・国内需要の拡充）
- ◎農林水産物の輸出拠点港としての志布志港の整備促進
- ◎畜産振興を軸とした6次産業化
- ◎養殖・養鰻・沿岸漁業の振興
- ◎農商工連携の促進（地産地消から地産地商）
- ◎新たな木材需要の創出と強い林業

豊かな資源の活用

- ◎離島の特性を活かした振興
- ◎宇宙開発の推進
- ◎豊かな自然と恵まれた食材を活用した観光の振興

住みよい地域づくり

- ◎大隅縦貫道の整備促進
- ◎交通ネットワークの整備促進
- ◎地域幹線道の整備加速
- ◎港湾・漁港・海岸事業の整備促進
- ◎錦江湾横断道路の実現
- ◎超高速ブロードバンド早期整備
- ◎災害に強い地域づくり（事前防災・減災・国土強靱化の更なる促進）
- ◎学校や公共施設の耐震化
- ◎子育て支援の強化
- ◎女性が輝く社会の実現
- ◎伝統・文化の継承・スポーツの振興
- ◎大学・高専・短大と連携した地域づくり

安心・安全な未来へ

- ◎高齢化社会に対応した社会保障制度の充実
- ◎国民皆保険・国民皆年金制度の維持
- ◎医療体制の確保と質の充実



森山ひろし

自由民主党

（この選挙公報は、公職選挙法第百六十九条第三項の規定により、候補者から提出された原文のままを掲載したものであります。）

令和八年二月八日執行 衆議院（小選挙区選出）議員選挙 選挙公報 （鹿児島県第四区） 鹿児島県選挙管理委員会

第51回衆議院議員総選挙

◎投票日 **2月8日(日曜日)** 午前**7時00分**～

※終了時間は各市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

投票日に仕事等で用事がある方は、期日前投票が利用できます。

◎期日前投票 **1月28日(水曜日)～2月7日(土曜日)**
午前8時30分～午後8時まで

※期日前投票の行える場所や日時については、各市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

選挙管理委員会では、高齢者や障害のある方にも安心して投票していただけるよう、投票環境の向上に取り組んでいます。投票所で介助のお手伝いが必要な方は、お気軽にお申し出ください。

また、ご自身で候補者の氏名を書けない方は、代理投票を行うことができます。詳細は各市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

鹿児島県選挙管理委員会